UAゼンセンの国際連帯活動　働く仲間の権利向上へ　リーダーシップ

第4回UNI世界大会

インクルーディング・ユー

“絆”――排除なき共生社会を目ざして

２０１４年12月7〜10日、第４回ＵＮＩ世界大会が南アフリカ共和国・ケープタウンで開催されました。また、大会に先駆け４〜５日には、世界女性大会が開催。ＵＡゼンセンから逢見直人会長、八野正一副会長をはじめ、８名が出席しました。ＵＮＩは、２０００年1月に結成されたサービス産業の労働者を代表する世界規模の国際労働組織で、１５０カ国・９００組合・２０００万人の商業、サービス、金融、通信などの労働者を代表しています。

大会のメーンテーマ「インクルーディング・ユー（絆−排除なき共生社会を目ざして）」のもと、１０９カ国３８３組織から代議員５３６名、オブザーバー・ゲスト１３３１名が結集しました。

ＵＮＩの使命は労働者の生活・労働条件を改善し、富の均等配分、人間らしい仕事、持続可能な経済成長の支援などです。大会では、３つのサブテーマ「①ともに組合の成長を勝ち取ろう②ともに我々の経済を取り戻そう③ともに新しい労働の世界で闘おう」にもとづき、代議員による活発な討議が行われ、２０14〜2018年の活動方針としてブレイキングスルー行動計画が採択されました。これは組合の成長を勝ち取るという課題に対処するため、具体的に、多国籍企業の組織化、組織化能力開発支援、連携のとれたＵＮＩ機構、団体交渉の強化などの行動を取ることを確認し合いました。

またＵＮＩは「グローバル枠組み協定」を推進していることから、逢見直人会長が2014年11月に締結されたイオンとのグローバル枠組み協定について報告しました。さらにバングラデシュにおける火災予防および建築物の安全に関わる協定（アコード）の進展に関する討議が行われ、事故が発生した縫製工場から商品を調達していた最大のブランドであるベネトン社に対し、同事故の補償基金への拠出を求める決議が採択されました。

役員改選では、会長にセリン・フィンランドPAM会長（サービス労組）が新任、書記長にはフィリップ・ジェニングス氏が再選され、逢見会長はUNI世界執行委員に選出されました。逢見会長はUNI−APRO（UNIアジア太平洋地域組織）会長としてUNI世界運営委員会のメンバーになりました。

中野英恵（国際局）

第4回UNI世界女性大会

賃金格差解消を誓い合う

12月4〜5日、南アフリカ共和国・ケープタウンでUNI世界女性大会が58カ国158組織、５０４名（代議員２１１名含む）が参加し開催されました。

今大会のテーマは、「インクルーディング・ユー『MASAKANE!』（マサカネ）」。ズールー語で、互いに信頼・協力関係をつくることを意味します。

とくに注目されたのは「同一価値労働、同一賃金」について、女性の活躍が進んでいるといわれているヨーロッパ地域の代議員からテーマの重要性を訴える発言が続きました。

会場には賃金格差を象徴し、23％分のタイヤが欠けている自転車が展示され、「タイヤが欠けた自転車は走らない。私達女性はこのような状態で働いている。この格差を解消しなければならない」というコメントが印象的でした。

和田水穂（男女共同参画・社会運動局）

写真上は各国から参加した代議員と発言する逢見会長（顔丸写真）。下は女性大会参加者。左から檀上亜都子さん（国際局）、佐伯さやかさん（マルイグループユニオン）、蠣原希さん（コープこうべ労組）、蝦名雅恵さん（ニトリ労組）、和田水穂さん（男女共同参画・社会運動局）

第2回ミャンマーCTUM大会

着実な活動進める

第2回大会が開催されたヤンゴンの会場の様子

２０１４年11月29日、ミャンマー連邦共和国のヤンゴンでミャンマーＣＴＵＭ（労働組合総連合）の第2回大会が代議員、オブザーバーを含め１９０名が参加するなかで開催されました。会場には組合旗に混ざり、ＵＡゼンセン旗も力強くはためいていました。

ミャンマーでは、労働組合活動が合法化されて3年余りが経過し、ようやく組合活動が緒についた状況です。しかし、労働組合の活動の進め方などについてまだまだ分からない部分が多いことから、ミャンマーＣＴＵＭからＵＡゼンセンに講師派遣の要請があり、それを受けて、２０14年5月から2カ月に1回講師を派遣し、労働組合に関する基礎講座を開催しています。この地道な活動が、ミャンマー連邦共和国における労働組合の発展に少しでも寄与することを願ってやみません。

郷野晶子（国際局長）

有期契約組合員の活動と成果

ＵＡゼンセン組合員１５２万名の約半数がパートタイマー等の短時間組合員であり、短時間組合員の組合活動への参加・参画が大きな課題です。全天満屋労働組合（流通部門、百貨店、岡山、組合員１４５０名）天満屋支部の有期契約組合員（メイト組合員）の活動事例を紹介します（２０１４年10月24、25日開催の２０１４連合中央女性集会での柳井孝之書記長の事例発表から抜粋）。

柳井書記長

組合活動の活性化と組合役員の育成進む

全天満屋労働組合の事例

グループごとに作成した素案を発表するメイト組合員の仲間達

「メイトネットワーク」はメイト組合員（有期契約組合員）の専門委員会として2007年に発足しました。

これは、メイト社員の数・比率が増加し、販売の主力になりつつあるにもかかわらず、賃金等の待遇面でパートナー社員（正社員）との格差があることや、メイト組合員の組合活動への参加・参画率が低く、メイト組合員の組合役員が不在であることなどをふまえ、メイト組合員の組合活動の活性化やメイト組合役員・委員の育成を目ざしたものです。

◇

「組合活動の活性化」の取り組みでは、各分会（店舗）から2、3名のメイトネットワーク委員を選出し、委員会や「メイトカフェ」（メイト組合員同士がランチやお茶を楽しみながら気軽に意見交換等を行う）等のイベントの開催、組合知識の習得、流通視察などを行ってきました。

近年は、①組合知識の習得②仕事・私生活に役立つスキルアップ③委員同士のコミュニケーションの向上の3点を活動テーマとして取り組んでいます。最近ではフェイスブックを活用した情報の発信・交換を行っており、好評を得ています。これらの活動が徐々に実を結び、委員達の成長や手応えを実感できるようになりました。

有期契約組合員の仲間達が処遇改善へ向けて提言発信

そこで、メイト組合員が一層やりがいを持って仕事を続けられるように、２０１3年からメイトネットワークの委員が提言をまとめ、組合や会社へ要望しています。提言の策定にあたっては、まずメイト組合員を対象にアンケート調査を実施し、この結果をもとに「メイトカフェ」などで素案を作成。これを委員が提言としてまとめ、組合の執行委員会で発表しています。

提言内容が実現する成果も上がっています。２０1４年の春の交渉では、「アニバーサリー（記念日）休暇」の導入やマタニティ（妊婦）バッヂの導入などの成果を上げています。さらに、新入メイト組合員研修の充実や、美文字講座等のユニオンカレッジ（組合員向けのスキルアップセミナー）の開催など活動の活性化が進んでいます。

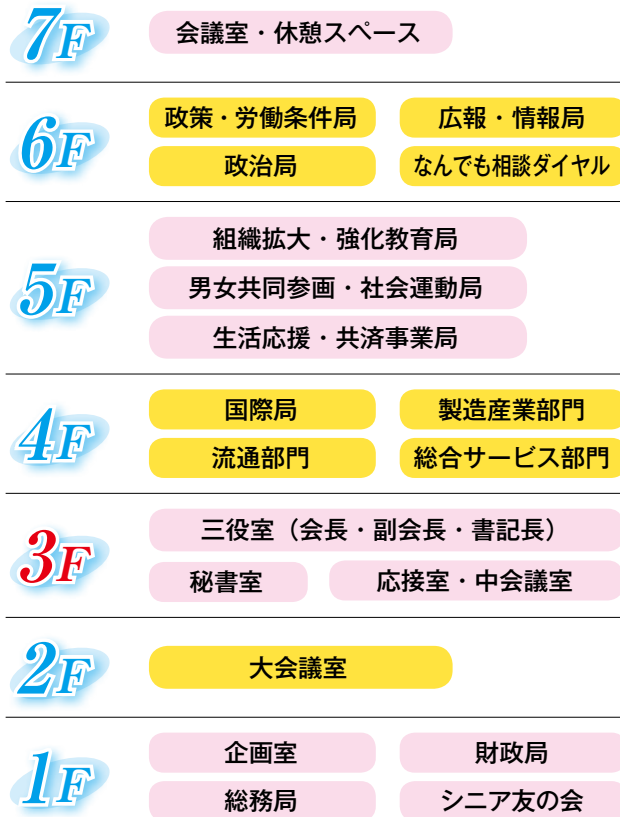
◇

また、組合役員・委員の育成についても前進しています。２００9年にポジティブアクション計画を作成し、メイト組合員の組合役員比率を「２０１4年までに執行部20％、代議員8％」の目標を掲げ、取り組みを進めました。その結果、現在、組合役員のメイト組合員比率は執行委員が21％、代議員が15％と目標を達成しています。引き続き、組合役員・委員の育成に努めていきます。

今後も、メイト組合員の声を大切にし、メイトネットワーク活動をつうじて、より良い職場づくりにまい進していきます。

保存版 第2弾

UAゼンセン本部案内図

- 7F　会議室・休憩スペース
- 6F　政策・労働条件局／広報・情報局／政治局／なんでも相談ダイヤル
- 5F　組織拡大・強化教育局／男女共同参画・社会運動局／生活応援・共済事業局
- 4F　国際局／製造産業部門／流通部門／総合サービス部門
- 3F　三役室（会長・副会長・書記長）／秘書室／応接室・中会議室
- 2F　大会議室
- 1F　企画室／財政局／総務局／シニア友の会

UAゼンセン本部書記局メンバー紹介①

働く仲間の幸せのために！

外堀通り　JR市ケ谷駅　交番　市ケ谷プラザ　靖国通り　三菱東京UFJ　JR出口　地下鉄2番出口　みずほ　UAゼンセン本部

前号の「UAゼンセン47都道府県支部・全書記局メンバー紹介」に続き、第2弾として今号から、UAゼンセン本部・部門・中央教育センターの各書記局について連載していきます。第1回目は逢見直人会長はじめ副会長、書記長が執務する「三役室」を紹介します。

前列左から田澤敬子秘書、逢見直人会長、松浦昭彦書記長、後列左から島田尚信副会長、八野正一副会長

152万名の仲間と運動を推進
三役室

全国の仲間の皆さん、新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、三役室はUAゼンセン本部（7階建）の3階に位置し、逢見直人会長、島田尚信副会長、八野正一副会長、松浦昭彦書記長と、三役室担当として総務局の田澤が勤務しています。三役はそれぞれ自室で執務をされていますが、UAゼンセンはむかしから三役の各部屋は日常、ドアをオープンにしています。これは書記局員や加盟組合の方が気軽に話かけられるようにという考え方によるものです。

業務に関して、代表して逢見会長の日常を紹介しますと、UAゼンセンの業務はもちろんのこと、連合、関係団体、国際組織の役員もされていますので、超多忙です。そんな状態でも、大学時代に落研に所属されていた会長は、4年ほど前から年に1回「落研OB落語会」の発表会を行っています。昨年はそのために着物を新調されたほどです。

また、島田副会長と松浦書記長は、「UAゼンセンテニスクラブ」に所属しており、年に数回の練習と年1回の強化合宿に参加しています。お二人ともかなりの腕前です。

八野副会長は休日に13キロのウォーキングをされていて、体も締まり、いつもオシャレです。こんな三役の方々です。

（田澤敬子）

【お詫びと訂正】本紙の新年号（1月1日号）の4、5面「保存版・47都道府県支部書記局メンバー紹介」で誤りがありました。お詫びして訂正します。①茨城県支部の三屋智広常任とありますが、正しくは次長です。②大阪府支部は、正しくは後列左から廣澤茂之常任、宮崎保常任、久保誠志郎常任です。③島根県支部の東野直子書記とありますが、正しくは常任です。修正をお願いします。

2015年

家庭に眠る小さなお宝キャンペーン

キャンペーン期間 1月から3月末

UAゼンセンでは皆さんのご家庭に眠っている書き損じはがきや聴かなくなった音楽CDなど価値あるグッズを集め、開発途上国の人々の支援に役立てるリサイクル活動を行っています。

集まった皆さんからのグッズはハンガー・フリー・ワールド、シャプラニール＝市民による海外協力の会、シェア＝国際保健協力市民の会の3団体に贈呈、換金され、開発途上国の海外プロジェクトや活動資金として大切に活用されます。ご協力をお願いします。

詳細は各労働組合までお問い合わせください。

旭化成労組延岡支部の仲間が集めたお宝の数々

集めているお宝の内容と留意点

品　名	留　意　点
書き損じ・未使用はがき（官製はがき）	上下と表裏を揃え、金額別に分ける。
未使用切手（日本切手）	金額別に分けて集約する。
使用済み切手（日本切手、海外切手）	切手の周囲を1㎝から5㎜以上残して切る。日本と海外の切手を分けて集計する。ほかのお宝と混ぜずに別便で送付する。
未使用カード（テレホンカード、イオカード、オレンジカード、ハイウェイカード、パスネット、QUOカード、図書カード）	種類別に分けて集計する。使用済・使用途中の物、左記以外のカードは不可。
音楽CD（アルバムのみ）、DVD、ゲームソフト	ケース、歌詞カード、取扱説明書のあるもの、カセットテープは不可。
外貨（紙幣のみ）	種類別に分けて集計する。コインは不可。
金券（商品券・図書券・ビール券・酒券）	種類別に分けて集計する。地域限定の金券、音楽ギフトカード、シューズ券、スポーツ券、文具券、旧花とみどりのギフト券は不可。
使用済みディズニーパスポート	種類別に分けて集計する。
ゲーム機器（すべてのパーツが揃っているもの）	汚れや破損のあるものは不可。

※大切なお宝ですので、汚れを拭き取ってください。

第9回連合・ILEC

幸せさがし文化展

「連合・ILEC幸せさがし文化展」は日ごろから創作活動に励む、働く仲間とその家族が作品を発表する場として開催しています。絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門で作品を募集します。組合員、組合役職員、組合OB・OG、ご家族の方など、どなたでも応募できます。ぜひご応募を。

募集部門と応募期間

〈俳句・川柳の部〉2月1日～5月15日

川柳は、題詠①「祈る」②「結ぶ」（一人各題2句まで）

〈絵画・写真・書道の部〉4月1日～5月15日

各賞

〈絵画・写真・書道の各部門〉連合大賞1名賞金10万円、ILEC大賞1名賞金10万円、シニア特別賞1名賞金3万円、ジュニア特別賞1名図書カード3万円、秀作5名賞金2万円、入選10名賞金1万円、特別審査員賞3名図書カード5千円

〈俳句・川柳の各部門〉連合大賞1名賞金5万円、ILEC大賞1名賞金5万円、シニア特別賞1名賞金3万円、ジュニア特別賞1名図書カード3万円、秀作5名賞金2万円、佳作10名賞金1万円、入選15名図書カード5千円、特別審査員賞3名図書カード5千円

お問い合わせ

教育文化協会（略称ILEC）＝〒101−0062 東京都千代田区神田駿河台3−2−11連合会館1F TEL03−5295−5421 FAX03−5295−5422。詳細はWebサイト「幸せさがし文化展」(http://www.rengo-ilec.or.jp)まで。

繋がれたチューブに感謝する命　八重子

前回の川柳の部でILEC大賞に輝いた笠原八重子さん（マルサンアイ労組）の作品

前回、秀作に輝いた山中春代さん（クラレ岡山OBのご家族）の作品